



教科名： AT分解組立・点検

2023年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 2年 A巡

科目： 自動車整備作業

時限数： 24時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/23	中野
FY19	授業時数変更のため	2/17	菊池
FY20			
FY21			
FY22			
FY23			

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科 2023年度

授業計画

時期	2年A巡	単元	実習	教科名	AT分解組立・点検	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	2級自動車シャシ編	発行日	2020/2/17新規	
			3級自動車シャシ編			
※ 注1 総時限	24時限		学習ノート(初回授業時配布)	教科担 当	長井 一真	※ ● ■
※ 注1 授業時間	38.4時間				小山 純	※ ● ■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士としてAT点検の実務経験がある教員によりオートマチック・トランスミッション分解・点検方法について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ① オートマチック・トランスミッションの構造、作動を理解する。
- ② トルク・コンバータのトルク増大作用及び性能曲線の見方を理解する。
- ③ プラネタリ・ギヤ・ユニットの増減速を理解する。
- ④ オートマチック・トランスミッション内部における動力の伝達経路を理解する。
- ⑤ 電子制御式オートマチック・トランスミッションの各ソレノイドの役割を理解すると共に、コントロールバルブ及び油路を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ① オートマチック・トランスミッションを構成する様々な部品・構造やその作動を理解し分解組立作業ができる。
- ② 電子制御式オートマチック・トランスミッションの構造及び作動を理解し自己診断ができる。
- ③ 重量物の取り扱いの危険性について理解し危険予知、対策ができる。
- ④ 作業における整理整頓の重要性を理解し整理整頓ができる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

試験内容

実技試験：70%

・オートマチック・トランスミッション分解組立て

筆記試験：30%

・オートマチック・トランスミッション動力伝達と制御要素

5. 準備学習

2・3級自動車シャシ編、学習ノートの該当項目について予習しておくこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

- ① オートマチック・トランスミッションを構成する様々な部品・構造やその作動を理解させる。
- ② 電子制御式オートマチック・トランスミッションを構成する様々な部品・構造やその作動を理解させる。
- ③ 重量物の取り扱いにおける危険性を理解させる。
- ④ 作業における整理整頓の重要性を理解させる。

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	A巡	単元	実習	教科名	AT分解組立・点検
----	----	----	----	-----	-----------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	A/T運搬時	重量物の為、数人で持ち移動させる。 作業グローブ着用	A/T運搬時、支えきれず落下 A/T運搬時、手先を怪我	
2	A/T分解組立時	作業グローブ着用	A/T分解組立時、手先を怪我	
3	スナップリング脱着時	安全めがね着用	スナップリングが弾けて怪我	

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

座学教室

